



【今日のテーマ聖句】

「わたしは自分が信頼している方を知っており、わたしにゆだねられているものを、その方がかの日まで守ることがおできになると確信しているからです。」(テモテ2・1:12)

2019年1月17日(木)

「あなたの検査結果は陽性です。妊娠していません」

この嬉しいニュースを夫に伝えるのが待ちきれませんでした。わたしの娘はもうすぐ2歳になり、この妊娠で次の子どもを産むのには完璧な時期でした。しかし、この喜びは悲しみに変まりました。一度だけではなく、二度も。同じ日の遅くに下腹部に痛みを感じ、病院に入院することになりました。検査で医者疑いは確かなものとなりました。子宮外妊娠でした。卵管の一部が破裂し、命を脅かすほどの内出血を起こしたのです。手術は体の傷を修復しましたが、わたしの失望した心は治せませんでした。

何年も、うまくいかなかった妊娠への努力の後に、医者はわたしに告げました。出血により組織が損傷し、妊娠はもはや不可能であると。わたしは医者が間違っていることを証明しようとして、心の中で「わたしは偉大な神様に仕えています。サラのために奇跡を起こしました。予想を覆して彼女をみごもらせたのですから、わたしにも奇跡を起こすことができます」と言いました。わたしはすべての信仰を神様のみ手にゆだねました。するとあまり長くかからずに再び妊娠したのです。神様はわたしの祈りに答えてくださいました。わたしたちはとても興奮し、神様への信頼と愛は深まりました。

ある晴れた安息日の午後、夫とわたしは静かな川べりを歩いていました。するとまた腹部の脇に痛みを感じました。このような痛みを前にも経験していたのに、気づかないふりをしました。ところがその夜、痛みは激しさを増し、また入院となりました。検査はわたしの恐れを確かなものにしました。2回目の子宮外妊娠だったのです。緊急の手術が必要となりました。

神様の約束にすべてをおゆだねしたのに、失望させられるだけなのではないでしょうか。ローマ 8:28 の益とは、いったいなんなのでしょう。疑いの雲がわたしを覆いました。自分の身に起きたことがまったく理解できませんでした。

「神様、なぜですか！ わかりません！ わたしの祈りに答えておいて、今度はそれを取り去るなんて。なぜ失望させるのですか？」

とても失望しながら、病院のベッドに横たわ

っていました。肉体的には痛み、感情的には落ち込み、だれにも会いたくありません。看護師がお湯が助けになると教えてくれたので、シャワーに入りました。涙がわたしのほおを流れました。祈らなければと思いながら、祈ることができません。神様に見捨てられたように思いました。シャワーの流れは嵐の黒雲のように感じられました。悪魔がここぞとばかりにささやきます。

「神様に信頼する人を神様はこのように取り扱うのか？ 神様はこのように愛を表すのか？」

しかし、神様はわたしを見捨てませんでした。この言葉を大きな声で繰り返すようにとの印象を受けたのです。「神様はわたしを愛している」

わたしはそれを望んでいるのかもわかりませんでした。しかし、2回目にその印象はより強くなりました。そこでわたしは「神様はわたしを愛している」と3回繰り返しました。その都度、それぞれの言葉を強調して繰り返しました。

「神様はわたしを愛している！」「神様はわたしを愛している！」「神様はわたしを愛している！」3度目に繰り返したとき、暗闇が去りました。ベッド戻ったときにはとても疲れ、一人になりたいと思いました。

病院のチャプレンが入ってきたとき、彼女はわたしを見て、「ジェンソンさんですか？」と尋ねました。返事をする、彼女はわたしのそばに来て、わたしの手を握り、「赤ちゃんを失うのはお辛いですね」と言いました。黒雲が戻ってきました！ 彼女のいるところでは涙を見せないようにしようと頭に毛布をかぶり、そして大きな声で「神様はわたしを愛している！ 信じてきた方を知っています！ キリストにわたしの人生を捧げたので、わたしのために神様が決断されたことだからいいのです。なぜならわたしの人生はあなたの中に隠されていますから」と言いました。この言葉と同時に黒雲はわたしから消えていきました。

イエスがペトロに語った言葉が、あとになってわたしの心に慰めを届けてくれました。「わたしのしていることは、今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる。」(ヨハネ 13:7) この問題について神様との格闘が続きました。

なぜそのようなことが起きたのか理解できません。特に、信仰を持って祈ったからです。信仰とは雲の先にある見えない世界を信じることであり、わたしたちの弱さの中でも神様の恵みが完全であることを経験させるため、神様がこのような経験を許されたのだと理解するには、きっと10年以上かかるでしょう。わたしは奇跡を祈りました。そして、神様はわたしに奇跡をくださいました。そこで学んだことは、本当の奇跡とは、神様の力がわたしの疑いよりも強いことであり、神様はわたしを支え続けてくださっているということです。

「そうだ、神はわたしを殺されるかもしれない。わたしは彼に信頼しよう。」「わたしを試してくださいませば／金のようにであることが分かるはず

だ。」(ヨブ13:15、23:10)

「神様は信頼という教訓をわたしたちに与えられます。必要な時にどこに助けと力を求めたいのかを教えてください。わたしたちの人生の経験の中にとっても必要な神様の御心についての実際的な知識を得るのです。疑いや恐れとの真剣な戦いの中で信仰は強く成長します。(『教会への証 4巻』英語版116、117ページ)

「この地上でわたしたちを悩まし、失望させた不思議な出来事も、来るべき国では明らかとなり、答えられそうにもないと思った祈りや、また実現しなかった希望も、わたしたちに最大の祝福であったことがわかる。」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング新装版』317ページ)

祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

【賛美の祈り】

- あなたが憐れみの父であり、慰めの神様であることを賛美します。(コリント2・1:3~7)
- わたしたちの壊れかけた心を直し、傷を癒してくださる神様であることを賛美します。
- わたしたちの重荷をあなたにゆだねることを許してくださることを賛美します。あなたは悲しみのときにわたしたちを支えてくださいます。なぜならあなたも悲しみを経験したからです。

【告白の祈り】

わたしたちをあなたから引き離す罪を、聖霊様が教えてください。父なる神様、わたしたちの疑いがあなたへの信頼を揺るがしてしまうことをお赦しください。あなたが豊かに提供してくださる赦しを感謝します。

【嘆願と執り成しの祈り】

- 主よ、わたしたちの失望を受け止める知恵と恵みをあたえてください。今は理解できませんが、あなたがわたしたちを愛し、すべてのことを益としてくださいます
- 疑いと恐れに直面するとき、わたしたちの信仰を強めてください。
- わたしたちの家族が地域社会であなたの愛を表せますように。家庭の中に調和をもたらし、崩れた関係を癒し、虐待から大切な家族を守り、また希望の見出せないような状況の中であなたの清める力を表してください。
- 教会員、牧師、世界中の指導者をみ言葉で日々、養ってください。個人的な祈りであなたを求めますように。あなた無しにはなにもできないことを思い出させてください。
- 西中央アフリカ支部の22か国の1,978の民族に新しい教会を立ち上げる看護師と医者を起こしてください。
- トランス・ヨーロッパ支部でメッセージが伝わっていない19の都市に住む4,900万人の人々のために祈ります。
- 祈りのリストの7人の方々のために祈ります。エレミヤ書24:7が語るようにこの方々にあなたを知る心を備えてください。

【感謝の祈り】

- 父なる神、そしてキリストが、わたしたちのために執り成してくださり、わたしたちには未来と希望があることを感謝します。他の人々を慰めるために、すべての苦難の中であなたがわたしたちを慰めてくださることを感謝します。
- わたしたちの弱さの中であなたの強さが完全に表されることを感謝します。

【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 258 番 「ひとたびは死にし身も」

希望の讃美歌 299 番 「まごころもて」

希望の讃美歌 320 番 「行くみちに」

希望の讃美歌 347 番 「わがたましいを」

【神様の約束】

- 「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」
(マタイ 11:28)
- 「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。」(イザヤ 41:10)
- 「主は従う者を支え／とこしえに動揺しないように計らってください。」(詩編 55:23)